

4学年部会

【研究主題】 人の営みに学び、未来を創る子どもが育つ社会科教育
【研修会主題】 学んだことを社会や生活に生かす学習過程のあり方

【研修会主題に迫るための視点】

<p>視点① 主眼的学びを表現するための、予想と見通しを生かした単元への関わり</p>	<p>子どもが単元を見通す学習問題と学習計画を活用しながら、単元全体を通して自分自身の学びや成長を感じることができるようにするためのみとりと手立て。</p> <p>子どもの生活経験や既習経験や興味した教材を踏まえて、単元を見通す学習問題を子どもたちとつくり、その解決に向けて学習画を立てる。学習画を立てる段階で個人の【予想学習内容】や【どのように学ぶか】の【学習方法】まで学習画を立てそれを活用することで、単元の学習の途中や終末での振り返りの際自分の学びを俯瞰して捉えることができる。それにより子どもが自らの学びを意図し、主体的に学ぶとする意図的な側面の場合もあるが現れるようになると考える。子どもが学習画を立て、それを意図しながら、授業・授業の間で自己の関心や見通しに合わせた学習活動を主体的に取り組んだり、振り返ったりして学びを調整していくためには複数の単元を通して学びを意図していくことが必要である。そしてそのためにも教師の息の長い支援が必要提案の際は、付加価値ではなく日常からの学習画や教師の支援を意図したい。そのためにも</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが単元を見通す学習問題と学習画(全体での学習画と個々の学習画)を日常から意識できるようにすることを大切にする。 ○学習画を立てられたその後の3~4時間の自分より主体的になるように、授業・授業の間で個々の関心や見通しに従って調査活動に取り組んだり、追究を再構築したりすることで、個性的で最適な自分の在り方を意識できるように声かけや支援工夫する。 ○子どもたちが、どのような学び方ができるようになってほしいのか、子どもをみとり、支援していくことが必要になってくるだろう。はじめの段階では、教師指導を發揮して教えていくことも大切にする。(学び方・見方・考え方や活用していけそうな資料、シンキングツールの活用やまとめ方等) 権正方法抽出児童3名程度の学習画からの振り返りの変容等
<p>視点② 社会的事象の意味を迫るための、協働的な学びを大切にした授業への関わり</p>	<p>教師が子どものみとりを大切にしながら、本気の学習問題を追究することを通して、子ども同士が互いの考えを比較したり、関係付けたりしながら、深めたり、広げたりできるようにするための教師の指導性を発揮する場面を明確にする。</p> <p>はじめに立てた単元を見通す学習問題と学習画をもとに分かったことやまだ分かっていないことを子どもたちと整理したり、必要に応じて教師の資料を投入したりすることで、本気の学習問題を成立させる。その成立過程では子どもの疑問や関心などを十分考慮しながらも、学習問題が社会的事象の特色や意味等に迫るものになっているかを吟味することが大切になる。しかし、その本気の学習問題を追究する過程で子ども同士の力だけでは社会的事象の意味等に迫ることは難しい。そのため、教師が授業の中で子どもたちの様子をみとり学びを深めたり、広げたりできるようにしていく必要がある。そのためにも</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの種別を想定した資料の準備や教師の出るタイミング「発問」「問い」「返し」「板書」「子ども同士の対立」「拮抗」などを想定していくことを大切にする。 ○子どもの前までのみとりや捉えさせたい社会的事象の意味等を明確にし、本元を通して子どもたちかどのような姿でいることを想定するのかを明確しておくことを大切にする。 <p>権正方法授業録・相手までの資料・本時録等</p>

【4学年部会で目指す子どもの姿】

地域の人々の生活をより良くしている諸種が県内の様子について学習問題を見だし、自らの学びを振り返りながら、**社会的事象の特色や相互の関わり**などについて考えて表現し合うことを通して、学んだことを社会や生活に生かそうとしたり、これからの社会のあり方を考えようとする姿

【学習内容と学習指導要領のかかわり】

<p>人々の健康や生活環境を支える仕事</p>	<p>見学調査や地図などの資料で調べ、まとめる。その事業が人々の健康や生活環境を関連付けて考え、その事業が果たす役割を考え、人々の健康や生活の維持や向上に役立っていることについて自分の学んだことや考えを具体的な言葉でまとめるとともに、自分たちでできることを考えたり選択判断したりする姿</p>
<p>自然災害から人々を守る活動</p>	<p>聞き取り調査や地図や年表などの資料で調べ、まとめる。自然災害が発生した際の被害状況や災害から人々を守る種別を関連付けて県内の人々の命や財産を守るなどの種別の働きを考え、地域関係者や人々は、自然災害に対し、様々な備えをして対処してきたことや今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることについて自分の学んだことや考えを具体的な言葉でまとめるとともに、自分たちでできることを考えたり選択判断したりする姿</p>
<p>県内の特色ある地域の様子</p>	<p>地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめる。特色ある地域の人々の種別や産業とそれらの地域の発展を関連付けてたり、自分たちの住む地域や横断と比較したりしてその特色を考え、県内には地理的環境などの特色を生かし、まちづくりや産業の発展などに努めている地域があることについて自分の学んだことや考えを具体的な言葉でまとめることができる姿</p>